

制作中のストラップを手にする後藤岬さん(右)と、フェア会場の動画撮影を予定する塚原竜広さん。高森町



学生の感性で 阿蘇を作品に

「クラフトフェア」

崇城大生が出演へ

熊本市の崇城大芸術学部の学生が、高森町上色見の阿蘇フォークスクールで10～12日にある「アート&クラフトフェア」で、阿蘇を

題材にした作品を披露する。

同学部の三枝泰之教

授のゼミ生が昨年9月

に同スクールの展示会

を手伝ったのを機に、

今回の出品を依頼さ

れ、デザイン学科4年

の2人が手を挙げた。

2人のうち後藤岬さ

んは、根子岳やあか牛

をデザインしたストラップを石塑粘土で制作。会場では、これまでに見せる。

電化製品や雑貨の紹介動画を手掛ける塚原

竜広さんは、フェアの

様子やインターネットの生中継サイトで発信する。「若者らしくポップな感性で阿蘇を描きたい」と意気込んでいる。

フェアは全国の作家約150人が工芸品や雑貨を展示販売する。

(堀江利雅)